

明学生のライフスタイルを調査、分析します。

47

明学生と地元

実施期間：2021年7月14日～7月26日
 回答数：178件

Q6 他の人に通じなかった方言や方言と思っていなかった言葉とその意味は何ですか？

「りんごがボケてる」
 …りんごの果肉がボソボソする (長野県)

「なおす」
 …しまう、片付ける (福岡県)

「けもけも」
 …かき混ぜる (山形県)

「しみじみしろ」
 …しっかりしろ (茨城県)

「大事？」
 …大丈夫？ (群馬県・茨城県・栃木県)

それぞれの地域の方言のユニークさが見られる回答ですね。他にも、宮城県で「だからね」は「だよね」、佐賀県で「からう」は「背負う」、埼玉県で「さっばる」は「捨てる」など魅力的な方言が寄せられました。

Q5 あなたの地元の自慢の場所を教えてください。

日本三景の一つ！美しい景色！
戸越銀座商店街 (東京都)

松島(宮城県)
 食べ歩きの穴場スポット!!

近代化産業遺産に認定！
官営八幡製鐵所 (福岡県)

ほかにも、夜景がきれいな「鹿島灘」、猿がいる「地獄谷温泉」、牧場でおいしいソフトクリームが食べられる「那須高原」など、皆さんの地元の自慢の場所について、地元の方だからこそ知っている情報がたくさん！状況が落ち着いたらぜひ行ってみたいですね。

Q7 あなたの地元の“あるある”を教えてください。

自動改札がないので駅員さんにスタンプを押してもらおう (宮崎県)

自宅で標高が言える (長野県)

山で方角がわかる (群馬県)

盆踊りの曲がかかるとみんな一斉に踊り出す (北海道)

横浜だけど畑も田んぼもある (神奈川県)

地元ならではの魅力や風習が多く見られました。「宮城県民は牛タンをあまり食べない」というイメージとのギャップが感じられる回答もあれば、「千葉県民は住んでいる場所をチーバクんの体の部分で表す」といった、他県民にとっては驚きの回答もありました。

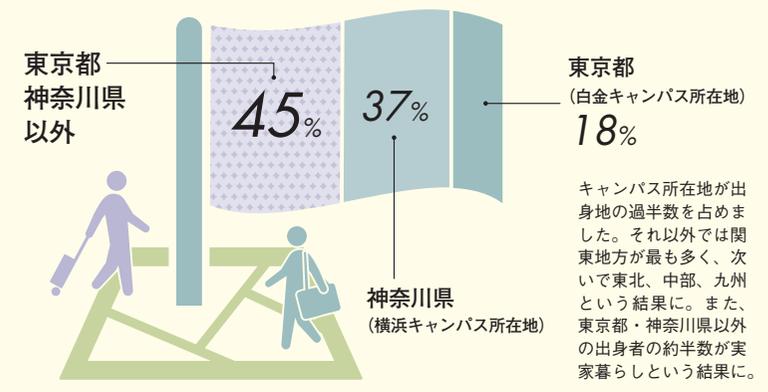
私の地元ってこんなところ！

今回、私たち学生広報委員は、「明学生と地元」というテーマでアンケートを実施しました。回答者の中には、キャンパスのある東京都・神奈川県以外出身の方が約半数を占めていました。

現在、コロナ禍でキャンパスに行く機会がなくなり、外出自粛などで人との出会いの場が減少し、寂しさや孤独を感じている方も少なくないかもしれません。一人暮らしの方は、夏休みに帰省したり、家族と電話したりして、自分の地元について改めて考える機会も増えているのではないのでしょうか。

特に、地元自慢や、「あるある」の回答からは皆さんの地元への愛を感じることができました。知らなかった情報がたくさん寄せられて、とても興味深かったです。全国には、似ているところ、違うところがあります。現地に行かないとわからないような各地の個性も多々あります。今後コロナウイルスが収束し、世の中が落ち着きを取り戻したら、自分の足で全国各地を回ってみるのも楽しそうです。

Q1 あなたの出身地を教えてください。



キャンパス所在地が出身地の過半数を占めました。それ以外では関東地方が最も多く、次いで東北、中部、九州という結果に。また、東京都・神奈川県以外の出身者の約半数が実家暮らしという結果に。

Q2 明学生で同じ都道府県出身の友だちはいますか？



約半数が同じ学部内に同じ都道府県出身の友達がいるという結果に。オンライン授業だと出身地について話す機会は少ないかもしれませんが、いざ聞いてみると意外と同じ出身地の人がいる可能性も。秋学期の話の種にもオススメです。

Q4 東京都・神奈川県以外の出身者は、各キャンパスのどんなところに驚きましたか？

野生の動物がいる (横浜)

街中にキャンパスがある (白金)

図書館から東京タワーが見える (白金)

遠望橋から富士山が見える (横浜)

坂が多い (横浜)

白金キャンパスについては、「バスの本数が多い」「高層ビルが多い」など、都会さに驚いたという声が多数。横浜キャンパスについては、「リスがいた」「ウグイスが鳴いているのどか」という自然に関する意見に加え、「駅前がにぎやか」「飲食店が多い」という声も。

Q3 東京都・神奈川県出身者から見た各キャンパスの魅力は何ですか？

異国情緒の雰囲気 (白金)

アクセスが良い (白金)

伝統的。歴史的建造物では木の温もりを感じられる (白金)

キャンパスが広く落ち着く (横浜)

自然豊か (横浜)

白金キャンパスについては、とにかく外観がオシャレという意見が多く寄せられました。横浜キャンパスは、自然の豊かさやキャンパスの広さを評価するコメントが多数。他にも「学食のメニューが豊富でおいしい」という意見も見られました。